

# 市長に語る 新成人たちの思い

# 私たちが描く理想の出雲

## 懇談

### 新成人

伊藤 斉和子さん（矢尾町出身）  
 布野 由貴菜さん（大塚町出身）  
 持田 浩次さん（平田町出身）

### 出雲市長

西尾 理弘

ふるさとを離れてわかった出雲の良さを、今は都会地に住む新成人3人が市長に語った懇談会。市長は出雲市のまちづくりの決意を語りました。

## 離れてみてわかる 出雲のよさ

市長 成人おめでとーございませう。皆さん都会にいらつしやるそうですが、いかがですか。持田 縁あって都会に就職しましたが、やっぱり育ったまちが大好きです。近い将来は、

転勤願を出して、必ず出雲に帰りたいと思っています。伊藤 今、京都に住んでいますが、生まれ育った土地のことを知らない京都人が多いのにつくりしました。実は、私自身も出雲の知識が少ないことに気付き、恥ずかしく思っています。せっかく全国でも有名な神話のふるさと出雲に生まれたのだから、子どものころからもっと学ぶ必要を感じています。市長 3月10日には、出雲大社東隣に、県立古代出雲歴史博物館がオープンします。また、出雲市でも市民の歴史学習の拠点となる博物館の建設を大津町で計画しています。これらの施設を利用して、子どものうちから出雲の歴史・文

化について大いに学んでほしいですね。



開館間近の「県立古代出雲歴史博物館」（大社町杵築東）

## 人と人との つながりを大切に

市長 皆さんは、どんな出雲市であってほしいですか。布野 私は都会に住みたくて東京に就職しましたが、人間関係が希薄だと感じます。近所で人と人との触れ合いがある出雲の良さを失わないでほしいですね。市長 今、出雲市の中でも、町内会のような組織をわずらわしいと避ける人が増える傾向にあります。布野 私も以前はわずらわしいと感じていましたが、「何かあったら近所や周りの人たちが助けてくれる」という安心感はとても心強く、大切なことだと思うようになりました。

市長 災害のときなどは特にそうですね。出雲市でも昨年夏に大きな豪雨災害に見舞われましたが、地域の方々の支えあいのおかげで、地域の方々の支えあいがありました。ありがとうございます。持田 都会は便利で確かに住みやすいですが、人のまとまりがありません。私の実家は、木綿街道にありますが、みんなが集まって、地域のことに熱中する風土があります。いつまでもそうあってほしいですね。

市長 都会は刺激があつて、若いときはいいかもしれませんが、やはり温かい人間関係は、生きていく上では欠かせないですね。今出雲市では住民の方々に町内会の加入を強く訴えているところです。



横浜在住の持田浩次さんは、剣道を通して地域貢献をしたいと語ります

## 多方面での活躍を期待

市長 ところで、皆さんは出雲に帰ってきたらどんなことをしたいと思っていますか。持田 中学生のころから頑張ってきた剣道を通して、地域に貢献できたかと思っています。高校ではインターハイで3位になるといったいい経験をしました。地元の中学生・高校生が強くなって活躍できるよう支援したい気持ちがあります。

伊藤 私は、教育者を目指して勉強をしています。高校のころから美術が好きで、子どもたちに、芸術を通じた感性教育



若い人が住みたいまちになるよう頑張りたいと決意を新たにす西尾市長

育・情操教育をしたいというのが夢です。

市長 出雲市では、子どものころから、芸術・文化に深く関われるよう、昨年度、芸術アカデミーを創設し、専門的な指導が受けられるようにしました。今は音楽分野ですが、将来的には美術・工芸分野にも広げたいと思っています。また、今年度はスポーツアカデミーも創設しました。地域の子どもたちのために、皆さんもぜひ出雲で活躍してほしいですね。

## 食生活に目を向け 心身ともに健やかに

市長 皆さん最近の関心事としては、どのようなことがありますか。布野 私は学校のいじめ問題



教育者を目指す大学生の伊藤斉和子さん。神話のふるさと出雲の魅力あらためて発見しました

伊藤・布野・持田 私たちは、県外にいたる間に、もつと出雲のことを情報発信するよう努力したいと思います。今日はありがとうございました。



地域住民の力で盛り上がる木綿街道のイベント

ただ、残念なことに若い人たちが働きたいと思う職場が少なく申し訳なく思います。若い皆さんが、帰ってきやすいよう、産業のあるまち、ビジネスのできるまちとして活性化するよう、市長としてこれから頑張ります。



幼児期から音楽に触れる『出雲芸術アカデミー』



東京で働く布野由貴菜さん。「人と人との触れ合い」のありがたさを実感しています

